

平成27年度 全道新人陸上競技大会運営要領

9月16日(水) 1日目	9月17日(木) 2日目	9月18日(金) 3日目
開 門 7:00	開 門 7:00	開 門 7:00
本競技場開放 7:00~8:00	本競技場解放 7:00~9:00	本競技場開放 7:00~9:00
開始式 8:10	専門委員会議 8:10	専門委員会 8:10
役員打ち合わせ 8:30	役員・補助員集合 8:30	役員・補助員集合 8:30
パート打ち合わせ	主任打ち合わせ 8:30	主任打ち合わせ 8:30
競技開始 9:30	パート打ち合わせ	パート打ち合わせ
競技終了予定 17:10	競技開始 9:30	競技開始 9:30
	競技終了予定 17:00	競技終了 16:30

- 1 トラック競技は、全て電気時計(写真判定)とする。腰ナンバーカードを使用する。
- 2 スタート合図要領(トランシーバー使用)
写真判定員・スターター確認→出発係・監察員(確認完了)→合図→アナウンサー→スタート
- 3 トラック競技、フィールド競技ともに、全員の記録をとる。
- 4 競技者係は、トラック競技、フィールド競技とも競技場所まで競技者を誘導する。
- 5 腰ナンバーカードは、競技者が自分ではずし、競技者係補助員に戻す。
- 6 3000m以上の競技は、レーンナンバーカード(胸・背・腰)を使用する。
- 7 記録の掲示は、第2ゲート外に設ける。
- 8 審判員のフィールドへの出入りは、原則としてスタート、ゴール付近のコーナーとする。
- 9 競技者以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。また、競技者、付き添いは、メインスタンド前を通行させない。
- 10 監督、コーチが競技者を呼び寄せて助言する場合は、コーチ席で行う。その場合、映像等を選手に見せることはできるが、機器を選手に手渡すことはできない。
- 11 主任は、競技に必要な記録用紙・筆記用具は記録室から、その他の用具は用器具係から受け取る。なお、小器具等の運搬は各競技担当で行い、用器具係に依頼するものは競技場所に整理整頓して置くこと。
- 12 競技運営については、担当総務員を中心に審判員同士の連携をはかり、スムーズに行う。
- 13 各用紙の流し方は、次の通りとする。
 - (1) スタートリスト・試技リスト
 - ① トラック競技
競技者係→出発係・アナウンサー・トラック審判長・総務・トラック総務員・決勝審判員・写真判定員・監察員・(周回記録員・競歩審判員)
 - ② フィールド競技
競技者係→各審判長(跳躍・投擲)・総務・各総務員(跳躍・投擲)・各担当審判(跳躍・投擲)・風力計測員

(2) 各ラウンド (準決勝・決勝)

① トラック競技

番組編成員→トラック審判長・総務員・トラック総務員・アナウンサー・競技者係・掲示・表彰係 (決勝)

② フィールド競技

番組編成員→各審判長 (跳躍・投擲)・総務・各総務員・(跳躍・投擲)・アナウンサー・競技者係・風力計測員・掲示・表彰係 (決勝)

③ リザルト

記録情報処理員→各審判長・(トラック・跳躍・投擲)・総務・各総務員・(トラック・跳躍・投擲)・アナウンサー・掲示・表彰係

- 14 フィールド競技の決勝進出者については、競技に支障のない範囲で各主任がアナウンサーに連絡して紹介を行う。
- 15 練習は競技場周辺の芝生広場で行う。ただし、器具を持ち込んでの練習はできない。バックストレート側の開放時にはマーシャルの指示で練習すること。
- 16 本競技場内での投擲練習は、円盤投、やり投のみとし、大会前日については、練習割り当てに従って行う。試合当日の練習は、当日実施の円盤投、やり投種目のみとする。砲丸投については、プール駐車場横の砲丸投練習場にて7:00~18:00まで練習可能である。ハンマー投は練習できない。
- 17 やりの検定は招集所にて実施する。その際、「やり検査申請書」とやりを持参する。検査合格したやりは、「預かり証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げたやりは、各競技終了後、投てき審判員が招集所で返却する。

検査時間

第1日目	女子やり投げ	予選	7:45~	8:30	※1組2組とも
		決勝	13:00~	13:30	
第2日目	男子やり投げ	予選	8:15~	9:00	※1組2組とも
		決勝	13:00~	13:30	